Orange Smile
オレンジスマイル

ささえる。
つながる。

国保連みやざき

vol.7

西都古墳まつり（西都市）

宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

CONTENTS

01　NEWS&TOPICS

●第 36 回宮崎県国保地域医療学会
心豊かな地域包括医療・ケアの在り方を共有

●宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会
国保の安定運営に向けて、国保の諸問題の情報共有

●第 65 回全国国保地域医療学会
「人口減少地域の生活を守る地域包括医療・ケア～よみがえりの地　紀州・熊野から～」

●令和 7 年度国民健康保険関係者功績厚生労働大臣表彰
長年の尽力に感謝

●令和 7 年度宮崎県国民健康保険団体連合会職員採用試験を実施

02　情報ひろば

03　国保連行事予定（11 月～1 月）

第 36 回宮崎県国保地域医療学会

心豊かな地域包括医療・ケアの在り方を共有

10 月 25 日（土）、第 36 回宮崎県国保地域医療学会をシーガイアコンベンションセンターにて集合形式で開催し、209 人の参加がありました。

本年度の学会は、メインテーマを例年どおり「心豊かな地域包括医療・ケアの実践を目指して」とし、サブテーマを「未来を担う地域医療：少子高齢社会におけるレジリエンスと持続性」として、実施しました。

本学会は、地域保険としての国民健康保険の理念を踏まえ、国民健康保険病院や診療所をはじめ、保健・医療・福祉の関係者が一堂に会し、地域包括医療・ケアの実践の方途を探求し相互研鑽を図ることを目的としております。

今回の学会では、最初に西臼杵医療センター センター長 寺尾公成氏による「レジリエントな「西臼杵医療」を目指して～疾風の如く、牛歩の如く～」と題した特別講演が行われました。

講師：西臼杵医療センター センター長 寺尾 公成 氏

つづいて、地域での取組や医療機関内部での取り組みについて、県内国民健康保険病院や診療所に勤務されている方々が 29 題の研究発表として報告を行い、活発な質疑応答も行われ、盛会のうちに終えることができました。

宮崎県国民健康保険診療施設連絡協議会は、今後も県、市町村と連携し、地域包括ケアの推進の支援に努めてまいります。

第 36 回宮崎県国保地域医療学会 学会長
佐藤　祐二 氏
（高千穂町国民健康保険病院　院長）

学会の様子

お問い合わせ先　保険者支援課　保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail:jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会

国保の安定運営に向けて、国保の諸問題の情報を共有

宮崎県市町村国民健康保険運営協議会委員研修会を 10 月 31 日（金）に宮崎市で開催し、県・市町村国保運営協議会委員および県・市町村職員合わせて 93 人が出席しました。

本研修会は、県内市町村の国民健康保険運営協議会委員が一堂に会し、国民健康保険事業における運営上の諸問題について、相互理解と認識を深め、事業の円滑な運営に資することを目的としております。

本年度は、宮崎県福祉保健部国民健康保険課の荻窪浩之氏を講師に迎え、「国保制度の諸情勢について」と題したご講演をいただきました。講演では、公的医療保険の歴史や国保制度改革の概要をはじめ、本県市町村国保を取り巻く状況について、本県での取り組みを交えて説明がありました。

講演後は、活発な質疑応答も行われ、大変有意義な研修会となりました。

本会は、今後とも国保保険者の共同体として、市町村における国保の安定運営の支援を積極的に取り組んでまいります。

講師：宮崎県福祉保健部国民健康保険課 荻窪 浩之 氏

研修会の様子

お問い合わせ先　総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

第 65 回全国国保地域医療学会
「人口減少地域の生活を守る地域包括医療・ケア～よみがえりの地　紀州・熊野から～」

10 月 3 日（金）～4 日（土）、メインテーマを、「人口減少地域の生活を守る地域包括医療・ケア～よみがえりの地　紀州・熊野から～」とし、第 65 回全国国保地域医療学会が和歌山県和歌山市で開催されました。

本学会は、国民健康保険制度並びに地域包括医療・ケアの理念に則り、国民健康保険診療施設関係者が参集し、地域医療及び地域包括ケアの実践の方途を探求するとともに、相互理解と研鑽を図ることを目的としております。

今回の学会は、特別講演として田中光敏氏（「海難 1890」の映画監督）による「時と国を超えた善意の連鎖～エルトゥールル号の悲劇から～」に加えて、国保直診開設者サミット、シンポジウム、研究発表、表彰式等が行われました。

表彰式では、地域包括ケアシステム推進功労者として本県の小林市立病院の徳田浩喜氏と武田愛氏が全国国民健康保険診療施設協議会会長表彰を受賞されました。

表彰式に出席・受賞された武田 愛 氏

お問い合わせ先　保険者支援課　保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail:jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

令和 7 年度国民健康保険関係者功績厚生労働大臣表彰
長年の尽力に感謝

本表彰は、長年にわたり国民健康保険の事業の発展に貢献された方を功績者として厚生労働大臣が表彰するものです。

本年度の表彰では、宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会より、2 名の審査委員が受章されました。

お問い合わせ先　総務企画課 総務財政係
TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

令和 7 年度 宮崎県国民健康保険団体連合会 職員採用試験を実施

令和 7 年度の職員採用試験（一般事務）を以下のとおり実施します。多数の申し込みをお待ちしています。

申込受付期間	**令和 7 年 10 月 31 日（金）から 令和 7 年 11 月 28 日（金）まで**
第 1 次試験	**令和 7 年 12 月 6 日（土）から 令和 7 年 12 月 19 日（金）まで （テストセンター方式にて実施）**
第 2 次試験	**令和 8 年 1 月下旬**

※詳細な情報は本会ホームページにて公開中です。

お問い合わせ先　総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

こくほ随想
出産の保険適用

医療経済研究機構 政策推進部 国際長寿センター 客員研究員
濵谷 浩樹

医療保険においては、近年、子ども・子育て支援の観点から、次々に新たな施策が講じられている。まず、2022年度診療報酬改定では、不妊治療の保険適用が行われた。2023年度においては、出産育児一時金を50万円に大幅に引き上げ、更に2023年12月のこども未来戦略においては、「2026年度を目途に、出産費用（正常分娩）の保険適用の導入を含め、出産に関する支援の更なる強化について検討を進める」とされた。本年6月の骨太方針2025においては、「妊娠・出産・産後の経済的負担の軽減のため、2026年度を目途に標準的な出産費用の自己負担の無償化に向けた対応を進める」とされている。

不妊治療と出産の保険適用には、共通点がある。まずいずれも政治主導で推進されていることである。令和4年度の診療報酬改定率は、各科配分枠が＋0.23%、不妊治療の保険適用が別枠で＋0.2%とほぼ同じ水準であり、政治主導でなければ実現困難なものであった。また、保険適用の主たる目的が妊産婦の経済的負担軽減にあることも共通点である。しかし、相違点も多い。まず保険適用の本来の目的は、有効性・安全性の確認による治療の標準化である。不妊治療の保険適用については、そのプロセスを通じ、現場で行われている技術について、保険適用する技術、先進医療に分類する技術など振り分けが行われた。出産については、正常分娩の技術の標準化の必要性について、どのように考えるのか。次に、不妊治療については、治療が長期にわたる場合があるなど費用の予測が困難かつ高額になる場合があった。また、予算による助成事業はあったが、治療費を賄える水準ではなかった。他方、出産費用の予測は比較的容易である。また、既に出産育児一時金という仕組みがあり、その額の考え方は、標準的な出産費用の平均額を賄える水準（給付率10割相当）である。

このように、出産の保険適用は、不妊治療の保険適用と比較すると必要性の説明が難しく、主要課題は３つある。まず出産は病気ではないので保険事故になじまないのではないかとの議論がある。しかし、健康保険法制定以来、出産は疾病・負傷等とともに、保険給付の対象となっている。歴史的に、給付方法が現物給付・現金給付併用から現金給付に変遷してきているが、一貫して保険給付の対象に位置づけられており、ここは問題ないものと考える。次に、保険適用の範囲、すなわち標準的な出産費用の範囲がどこまでか。現在の出産育児一時金は、正常分娩にかかる費用のうち、室料差額・産科補償制度掛金・その他（お祝い膳等）を除いた費用をベースに金額を設定しており、保険適用に当たっても同じ範囲が基本となり、室料差額等は、現行の選定療養と同様の仕組みに位置づけられると考えられる。最後に、最も問題となるのが給付水準と地域差・医療機関間の格差である。令和5年度の正常分娩の平均出産費用は、全国平均50.7万円、最高が

東京都62.5万円、最低が熊本県38.9万円である。また、出産費用が出産育児一時金（産科補償制度掛金を除く）以内の正常分娩の割合が55%、これを超える割合が45%である。全国一律の診療報酬を前提として、仮に公定価格を50万円（産科補償制度掛金を含む）とすると、原則差額徴収ができないことから、都道府県単位では19都県、分娩数の割合では45%が医療機関の持ち出しになる。今後、更なる出産数の減少が見込まれる中で、周産期医療提供体制を一定程度集約するとしても、地域におけるサービスを維持するためには、相応の給付水準にすることが必要ではないか。また、医療機関間では、出産の体制や費用に大きな格差があるが、格差への対応も必要ではないか。

安全で質の高い周産期医療提供体制の存続と妊産婦の負担軽減の両立を図ることを前提に、早急な検討が必要である。

（記事提供　社会保険出版社）

著者プロフィール

濵谷 浩樹

（はまや　ひろき）

出身地　　北海道

医療経済研究機構 政策推進部 国際長寿センター

客員研究員

1985年4月　厚生省入省

1999年8月　厚生省保険局企画課

2000年7月　厚生省大臣官房政策課

2001年1月　内閣官房行政改革推進事務局特殊法人等改革推進室企画官

2002年8月　厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策官

2004年7月　厚生労働省保険局総務課老人医療企画官

2006年9月　厚生労働省年金局企業年金・国民年金基金課長

2008年7月　文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

2011年7月　厚生労働省保険局国民健康保険課長

2012年9月　厚生労働省保険局総務課長

2013年7月　厚生労働省大臣官房参事官（人事担当）

2014年7月　厚生労働省大臣官房人事課長

2015年10月　厚生労働省大臣官房審議官（老健、障害福祉担当）

2016年6月　厚生労働省大臣官房審議官（医療介護連携担当）

2017年7月　厚生労働省老健局長

2018年7月　厚生労働省子ども家庭局長

2019年7月　厚生労働省保険局長

2022年6月　厚生労働省退職

2022年11月　東京海上日動火災保険株式会社 顧問

2022年12月　一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

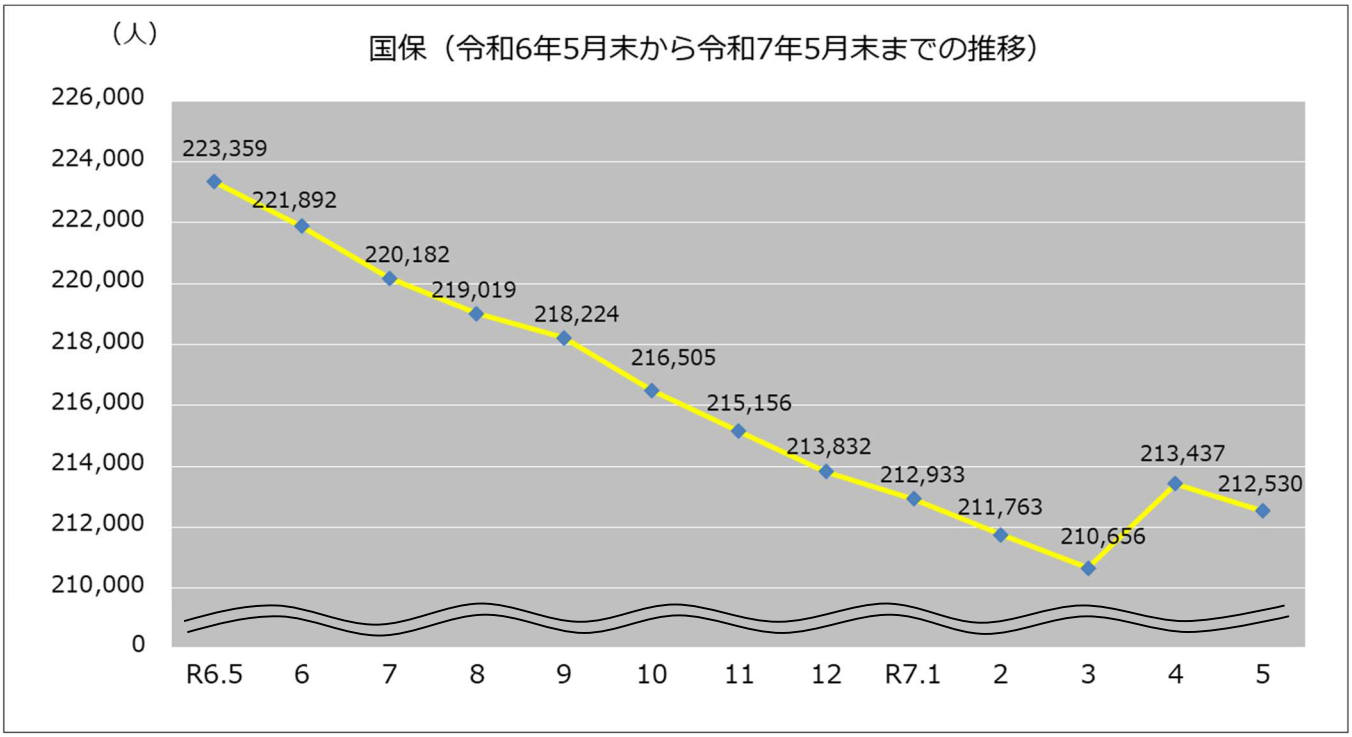
医療経済研究機構 政策推進部 国際長寿センター客員研究員

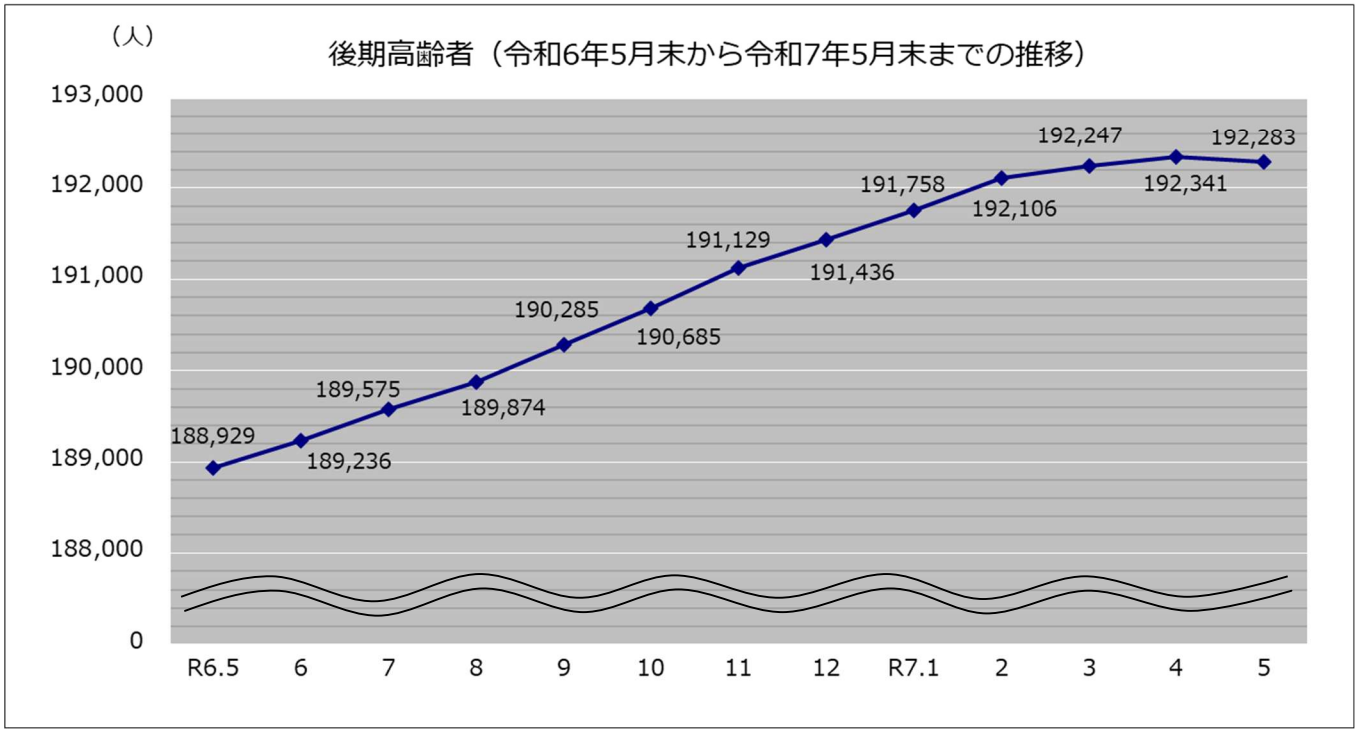
データコーナー

医療費データ

（注）数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

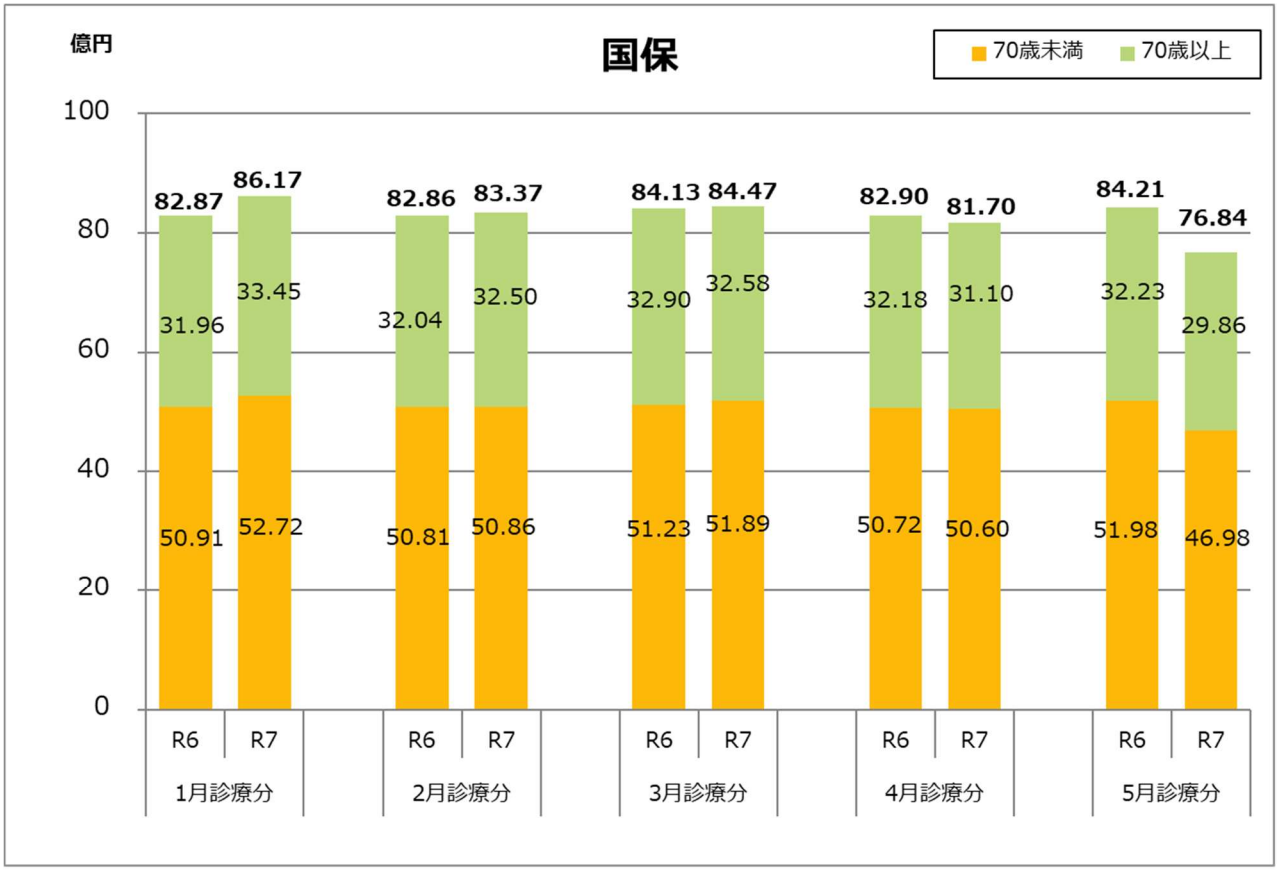
●被保険者の推移

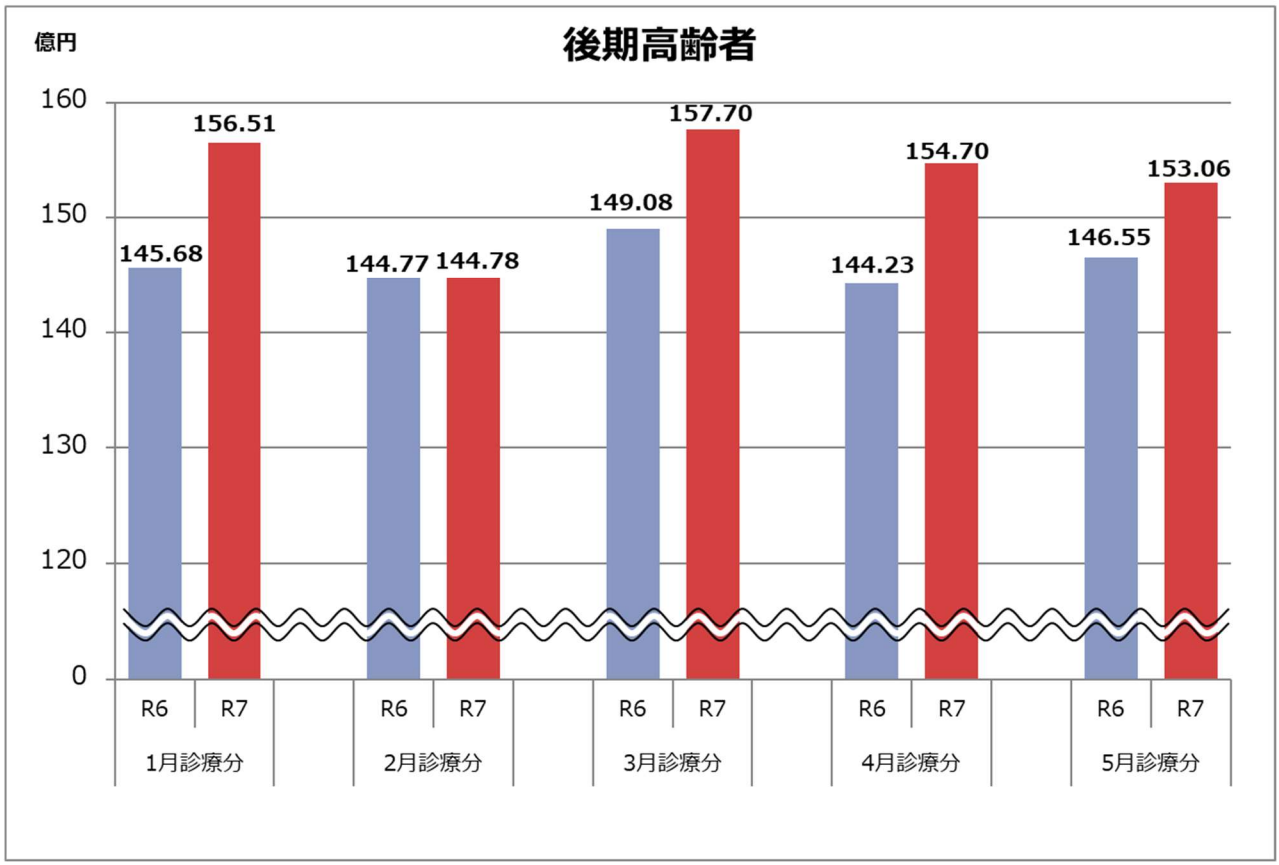




情報ひろば

●月別医療費


国保
億円
70歳未満
70歳以上
100
80
60
40
20
0
82.87
86.17
82.86
83.37
84.13
84.47
82.90
81.70
84.21
76.84
31.96
33.45
32.04
32.50
32.90
32.58
32.18
31.10
32.23
29.86
50.91
52.72
50.81
50.86
51.23
51.89
50.72
50.60
51.98
46.98
R6
R7
1月診療分
2月診療分
3月診療分
4月診療分
5月診療分


後期高齢者
億円
160
150
140
130
120
0
145.68
156.51
144.77
144.78
149.08
157.70
144.23
154.70
146.55
153.06
R6
R7
1月診療分
2月診療分
3月診療分
4月診療分
5月診療分

情報ひろば

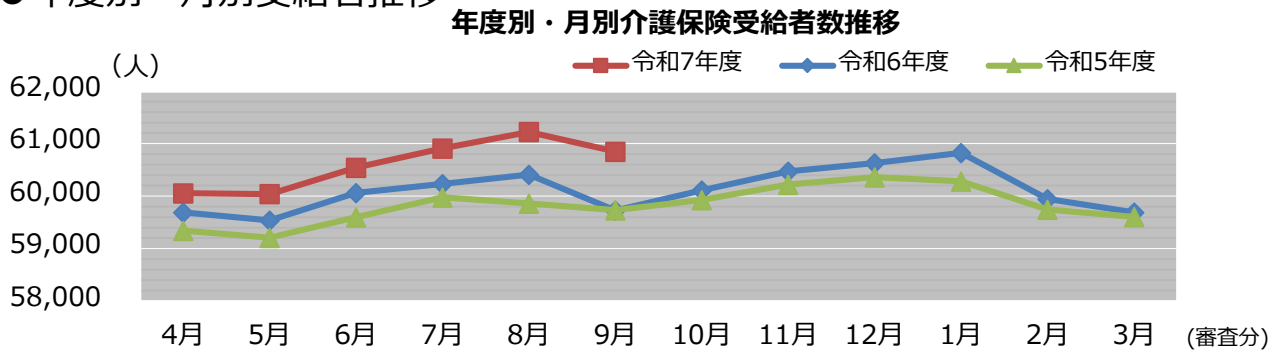
●国保 １人当たりの医療費（令和７年３月診療分～令和７年５月診療分）

市町村	１人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和６年３月～令和６年５月		令和７年３月～令和７年５月		
		順位		順位	
宮崎市	104,583	22	109,359	21	104.6
都城市	118,093	10	120,375	11	101.9
延岡市	113,981	17	114,221	16	100.2
日南市	133,963	3	137,978	5	103.0
小林市	121,848	7	123,802	10	101.6
日向市	119,373	9	125,391	9	105.0
串間市	117,753	11	128,351	7	109.0
西都市	109,644	19	111,814	19	102.0
えびの市	119,671	8	126,220	8	105.5
三股町	115,525	15	117,866	13	102.0
高原町	127,999	4	137,753	6	107.6
国富町	109,091	20	111,867	18	102.5
綾町	85,214	26	87,594	26	102.8
高鍋町	116,518	13	106,364	24	91.3
新富町	105,953	21	106,784	23	100.8
西米良村	115,922	14	195,940	1	169.0
木城町	98,372	25	107,242	22	109.0
川南町	100,012	23	110,950	20	110.9
都農町	99,161	24	96,801	25	97.6
門川町	114,024	16	112,603	17	98.8
諸塚村	141,184	2	146,690	3	103.9
椎葉村	116,650	12	118,705	12	101.8
高千穂町	126,007	5	146,737	2	116.5
日之影町	141,966	1	143,689	4	101.2
五ヶ瀬町	109,851	18	116,487	15	106.0
美郷町	122,872	6	116,824	14	95.1
県全体	112,455		116,036		103.2

お問い合わせ先　情報・介護課 情報管理係
TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
E-mail:jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

介護保険だより

●年度別・月別受給者推移



介護保険データ（令和７年４月審査分～令和７年９月審査分）

保険者名	確定件数状況			介護給付費（総合事業を含む）			
	R6.4月～R6.9月	R7.4月～R7.9月	前年同月比	R6.4月～R6.9月	R7.4月～R7.9月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮　崎　市	294,721	304,757	103.4	17,232,918,838	17,639,140,702	102.4	8
都　城　市	129,586	133,837	103.3	8,002,429,682	8,219,998,183	102.7	7
延　岡　市	101,933	102,561	100.6	6,387,614,762	6,440,152,810	100.8	11
日　南　市	42,300	42,917	101.5	2,984,666,498	2,979,234,739	99.8	17
小　林　市	35,748	35,063	98.1	2,717,861,512	2,643,440,326	97.3	22
日　向　市	31,235	31,697	101.5	2,363,313,672	2,400,055,030	101.6	10
串　間　市	12,637	12,607	99.8	986,996,391	973,668,478	98.6	19
西　都　市	22,225	22,882	103.0	1,798,490,968	1,850,173,925	102.9	6
えびの市	18,250	17,974	98.5	1,342,224,759	1,302,272,842	97.0	23
三　股　町	15,908	16,579	104.2	961,099,567	1,001,665,305	104.2	4
高　原　町	7,459	7,574	101.5	591,832,123	596,132,470	100.7	12
国　富　町	15,359	15,257	99.3	1,082,176,665	1,067,926,778	98.7	18
綾　　町	4,512	4,688	103.9	374,964,135	395,277,115	105.4	2
高　鍋　町	11,230	10,849	96.6	788,079,885	762,832,572	96.8	25
新　富　町	8,732	8,440	96.7	670,596,808	670,086,959	99.9	16
西米良村	615	784	127.5	64,266,394	76,004,255	118.3	1
木　城　町	4,100	4,108	100.2	317,198,295	310,790,203	98.0	20
川　南　町	8,916	9,278	104.1	725,033,003	729,699,076	100.6	14
都　農　町	6,781	6,362	93.8	534,222,600	517,122,065	96.8	25
門　川　町	11,474	11,665	101.7	672,130,672	702,195,343	104.5	3
諸　塚　村	1,343	1,442	107.4	106,976,066	106,999,975	100.0	15
椎　葉　村	2,043	2,094	102.5	180,992,399	184,294,048	101.8	9
高千穂町	8,934	9,057	101.4	702,865,099	728,429,121	103.6	5
日之影町	2,653	2,678	100.9	286,551,292	288,659,090	100.7	12
五ヶ瀬町	2,293	2,110	92.0	222,956,602	217,977,134	97.8	21
美　郷　町	4,791	4,880	101.9	424,904,279	412,119,635	97.0	23
市町村計	805,778	822,140	102.0	52,523,362,966	53,216,348,179	101.3	

＊確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

＊給付費合計･･･介護給付費、特定入所者介護サービス費、
高額介護サービス費および総合事業費の合計。

＊前年度伸び率は、令和６年度を 100 とした場合の%の表示。

お問い合わせ先　情報・介護課 介護福祉係
TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保連行事予定（令和７年 11 月～令和８年１月）

●11 月

日	曜	行事	場所等
7	金	令和７年度第２回国保主管課長会議	オンライン会議形式
10	月	レセプト受付日	国保連 本館１階ライブラリー室、東別館１階受付窓口
13	木	柔整審査委員会	国保連 本館２階第２会議室
14	金	国保制度改善強化全国大会	砂防会館別館（東京都）
20	木	国保審査委員会（～25 日）	国保連 本館４階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館２階第２会議室
25	火	国保合同審査委員会	国保連 本館４階大会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館２階第２会議室

●12 月

日	曜	行事	場所等
10	水	レセプト受付日	国保連 本館１階ライブラリー室、東別館１階受付窓口
12	金	柔整審査委員会	国保連 本館２階第２会議室
16	火	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係るセミナー	オンライン会議形式
18	木	国保審査委員会（～22 日）	国保連 本館４階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館２ 階第２ 会議室
22	月	国保合同審査委員会	国保連 本館４階大会議室
23	火	あはき審査委員会	国保連 本館２階第２会議室

●1 月

日	曜	行事	場所等
10	土	レセプト受付日	国保連 本館１階ライブラリー室、東別館１階受付窓口
16	金	柔整審査委員会	国保連 本館２階第２会議室
17	土	国保審査委員会（～21 日）	国保連 本館４階大会議室
19	月	国保審査小委員会	国保連 本館２ 階第２ 会議室
21	水	国保合同審査委員会	国保連 本館４階大会議室
22	木	あはき審査委員会	国保連 本館２階第２会議室
26	月	令和７年度第３回国保主管課長会議	オンライン会議形式

40 歳未満事業主健診データ活用のおしらせ

イベント用機材貸出のご案内

地域の健康づくりや健康寿命延伸に関する啓発、国保の周知等を目的とした健康まつりなどのイベント活動を支援するため、保険者等のみなさまに以下の機材の貸出しを行っております。

イベントでみなさまとお会いできることをお待ちしております。

■オレンジくん着ぐるみ

■体組成計

体重・体脂肪率、体の部位別の脂肪量、筋肉量などの測定を行うことができます。

■もの忘れ相談プログラム

モニターに表示される簡単な質問をタッチパネルで答えていくことで、アルツハイマー型認知症の疑いをチェックできます。（※付属のプリンターも貸出しております。）

■チェッカーくん（足指力測定器）

下肢機能を把握するために足指の力を測定します。

もの忘れ相談プログラム

■マイクロ CO モニター（呼吸ガス分析装置）

呼気中の一酸化炭素濃度を測定します。

チェッカーくん

■ライフレコーダーEX（生活習慣記録機）

日常の運動量や生活習慣を把握することができます。

■健康パネル

色々な内容の掲示用パネルがありますので、様々なテーマのイベントに対応した健康パネルをご用意することができます。

■オレンジタイム DVD

■のぼり

■はっぴ

■テーブルクロス

■ロールアップバナー

のぼり（５種類）

体組成計

マイクロ CO モニター

ご案内用ウェブページＵＲＬ

https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp/insurance/lending/

お問い合わせ先　総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

使ってみよう！
マイナ保険証

国保はみんなの健康づくりを応援します。